

9月自殺予防週間
官民共催講演会

自死、事件、事故などによる 突然の死別に向き合うこと — 周囲の人の理解と支援 —

大切な人との死別により遺された人には、様々な影響が生じるとされています。
特に、自死・自殺による死別では、悲しみ、抑うつ感、孤独感、自責感などの複雑な心理状態を抱えやすい一方で、社会的な理解がまだ十分ではなく、遺族(遺児)が相談・支援に繋がりにくい現状があります*注1。

本講演会では、遺族(遺児)が孤立せず生活できるような関わりや支援のネットワークのあり方を学びます。また、事故や事件といった「突然の死別」を経験した方への関わりも考える機会にしたいと思います。支援者だけではなく、テーマに関心のあるどなたでも受講できますので、ぜひご参加ください。

*注1)「自死遺族等を支えるために～総合的支援の手引」(2018年11月)より出典。

※本講演会は、自殺予防・自死遺族支援に取り組む民間団体と行政による啓発イベント「ライフイン灯(ライト)」の趣旨を継承し、より多くの方に自死遺族の現状への理解を深めていただく目的で開催いたします。官民共催の取組の経過は、裏面をご覧ください。

日時

令和8年 **9月25日** (金)
午後 2:00 ~ 午後 3:45

実施形態

Zoomによるオンライン開催

※事前にお申込の方にURLをお送りします。

対象・定員

本テーマに関心のある一般の方、自治体職員(福祉・保健・教育関係)、医療・看護・心理職等、児童福祉関係者、警察、消防、司法関係、民間支援団体相談員等

約**100**名

申込方法・締切

こちらからWeb申込

申込締切

令和8年**9月15日**(火)

※以下、申込フォームからでもお申込可能です。

<https://forms.cloud.microsoft/r/sQQ1y07ijH>



内容

14:00 開会挨拶

京都府健康福祉部地域福祉推進課

14:05 講義

「自死、事件、事故などによる
突然の死別に向き合うこと
— 周囲の人の理解と支援 —」

講師

龍谷大学社会学部教授

黒川 雅代子 氏



※講演内容は裏面を御覧ください。

15:05 団体の活動紹介(各15分)

・こころのカフェきょうと

・京都自死・自殺相談センターSotto

※各団体の紹介は裏面を御覧ください。

15:35 質疑応答

講義

自死、事件、事故などによる突然の死別に向き合うこと — 周囲の人の理解と支援 —

くろかわ かよこ

【講師】 黒川 雅代子 氏

【講師略歴】

龍谷大学社会学部教授。

関西学院大学博士後期課程修了 博士(人間福祉)
遺族会ミトラ代表、関西遺族会ネットワーク代表
を務める。

▷遺族会ミトラHP

<https://www.human.ryukoku.ac.jp/~kurokawa/>

▷関西遺族会ネットワークHP

<https://www.izoku-net.com/>

講師からのメッセージ

大切な人との死別体験は、遺族にとってストレス
フルな出来事です。葬送儀礼の簡略化、近所付き合
いの希薄化等、死は社会から見えにくく、遺族が
たった一人で喪失悲嘆に向き合っているかもしれま
せん。身近にいる人の理解と支援が重要です。

しかし、遺族の方に対して「何かしたいけれど何
をして良いのかわからない」、「どう声をかけて良
いかわからない」と考えている方は少なくないか
もしれません。「かえって傷つけてしまうことにな
らないだろうか」と思い悩んでいる人もいます。

ともに考える機会にできたらと思います。

団体紹介

こころのカフェきょうと (自死遺族サポートチーム)

【活動】

「こころのカフェきょうと」は、自死で大切な方
を失った方々が体験や想いを語り合い、悲しみを
わかち合う場として2006年に設立されました。
今年で21年目を迎え、月2回の「わかち合いの
会」や、毎年12月の講演・音楽イベント「響きあ
う音とこころ」を開催しています。
また、行政、他団体と連携した自殺予防や遺族支
援の啓発活動も行っています。

【HP】 <https://kokocafe.org/>

参加者へのメッセージ

私たちは、遺族が安心して胸の内を明かせる居場
所を守り、悲しみに寄り添いともに歩むことを大
切にしています。活動報告「ここカフェ通信」も
発行、関係先へ配布しており、今後とも皆様のご
理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

認定NPO法人

京都自死・自殺相談センターSotto

【活動】

Sottoは2010年設立の認定NPO法人です。

死にたいほどの苦悩を抱えた方の電話・メール相
談とともに、大切な人を自死で亡くされた方のた
めの「そっとたいむ」を毎月水曜に開催していま
す。予約不要・出入り自由・無料で、話しても話
さなくてもよい時間です。希望される方には相談
員との個別面談(45分・匿名可・オンライン対応
可)も行っています。

【HP】 <https://www.kyoto-jsc.jp/taisetsunahito/>

参加者へのメッセージ

「私のせいかもしれない」という遺族の言葉に、
正しさで応えることはできません。
気持ちをそのまま受け取る関わりを、当日は実
践からお話しします。

これまでの官民共催の自殺予防啓発事業について

WHOと国際自殺予防学会の制定した世界自殺予防デー(9月10日)にちなみ、京都府では官民共催で自死遺族支援・自殺予防啓発
イベント「ライフin灯(ライト)」を実施し、死にたい気持ちは誰にでも起こりうることを、頼れる場所や団体が身近にあること、
遺族の現状の理解促進等を伝えて参りました。詳細は、地域福祉推進課HP(自殺予防週間(9月10日～9月16日)/京都府ホームページ
(pref.kyoto.jp))を御覧ください。(共催：京都府、京都市、こころのカフェきょうと、京都自死・自殺相談センターSotto)

主催・問い合わせ先

京都府健康福祉部地域福祉推進課 生活困窮・自殺対策推進係 ☎075-414-4628
京都府精神保健福祉総合センター 相談指導課

後援(調整中)

京都府医師会